

赤十字奉仕団だより



第44号

赤十字の基本原則

人道、公平、中立、独立、奉仕、単一、世界性



写真 [左上] 金沢マラソン AED 隊 [右上] 石川県総合防災訓練 (傷病者役)
[中央] 奉仕団委員長・副委員長県外視察研修
[左下] 愛と平和のワンコイン募金 [右下] 鶴来地区災害図上訓練 (DIG)

● トルコ・シリア地震救援金

2月6日、トルコ南東部のシリアとの国境付近を震源とするマグニチュード7.8の地震が発生しました。多数のビルが倒壊し、多くの死傷者が確認されています。これを受け、日本赤十字社は、国際赤十字が実施する救援・復興活動を支援するため、「2023年トルコ・シリア地震救援金」の募集を開始いたしました。石川県内の奉仕団も募金活動などの支援を行っています。

・トルコ・シリア地震救援金街頭募金を実施して

能美市赤十字奉仕団チーム20 委員長 田中 策次郎

2月9日に救援金募集が始まった事を日赤のホームページで知り、一刻も早い支援が必要と考え2日後の2月11日に募金活動を行いました。

急な呼びかけでしたが、奉仕団員も被災地の報道を見て心を痛め「何かしたい」と考えていて、寒い中でしたが6人が集まり3時間の街頭募金で約7万円が集まりました。

遠い被災地に思いを寄せ「頑張って下さい」と多くの皆さんからお声も頂きました。

被災地の方々に能美市からの温かい気持ちと支援が届き、復興が進む事を願っています。



・北國銀行ハンドボール部 Honey Bee 「日本赤十字社応援試合」での募金活動に参加して

青年赤十字奉仕団 三宅 悠月

北國銀行ハンドボール部 Honey Bee 「日本赤十字社応援試合」でトルコ・シリア地震救援金の募金活動に参加させていただきました。募金にご協力いただきました皆様、ありがとうございました。トルコ・シリア地震をニュースで見ているとどかしい気持ちがあったので、自分のできることで支援ができて良かったです。

また、試合後に選手の皆さんも募金活動を行ってくださいました。おかげでたくさんの募金が集まり、スポーツの力を感めました。観戦された皆様が、ハンドボールと赤十字を身近に感じる素敵な1日になったと思います。



● 戸板地区で考える防災・減災研修会に参加して

戸板赤十字奉仕団 又多 寧子

令和4年11月29日に行われた防災・減災研修会に参加しました。この研修に参加して、地域の方とお話をしながら図上訓練を行うことができ、戸板地区に住み始めて日が浅い私にとってはとても有意義な研修でした。近隣の方とのコミュニケーションが減る中、地域の状況を知る上でも、定期的に開催してほしいと思いました。また今回は、ツエーゲン金沢さんや日本光電さん等の地域の企業の方とも合同で研修を行うことができ、災害時の協力体制を知ることもできました。地域で“顔見知り”を作ることが、いざという時の助け合う力になると思います。今回のような研修を広く地域の方々が受けられ、一人でも多くの“顔見知り”ができることで、地域の防災力を高められればと思いました。



● ACTION!無病息災プロジェクトを実施して

かほく市赤十字奉仕団 副委員長 沖野 輝世敏

5月にサツマイモ250本を植えてローテーションで水やりを行い苗が無事に育つよう願いを込めました。9月に農園がサツマイモの葉で埋まると期待と不安の中で掘り起こしました。育ったサツマイモを掲げると歓声と笑顔に満たされました。『能登地区赤十字のつどい』でサツマイモを100kg販売しバザーの収益金とともにウクライナ人道危機救援金に充てました。



また、10月にはノルディックウォーキング教室を七塚中央公園にて実施し、約2kmの周回コースを日頃の運動不足を実感しながらも心地よく歩きました。終了後には次回はマイポールで参加したいとポールを購入した参加者もいて意欲が伝わりました。



ACTION!無病息災プロジェクトで野菜づくりやノルディック・ウォーキング教室を実施し健康増進や団結力の強化につながったと感じています。

● 石川県総合防災訓練に参加して

金沢星稜大学学生赤十字奉仕団 委員長 谷内 さやか

9月25日、川北町で行われた石川県総合防災訓練に傷病者役として参加しました。地震発生により走行中のバスが衝突事故を起こし多数の乗客が負傷しており、消防が救出しDMATがトリアージや手当を行うといった訓練でした。顔や腕、足に特殊メイクをしてもらい、それぞれ傷病に合わせた演技も行いました。消防やDMATの方々は手際よく傷病者を救助されていて、頼もしく感じました。とても緊張感のある訓練に参加でき、貴重な体験となりました。



● 「能登地区赤十字のつどい」を開催して

輪島市赤十字奉仕団 委員長 下 善裕

「能登地区赤十字のつどい」を新型コロナ感染の社会的情勢により2度延期し、令和4年度の開催に向け協議していく中、各奉仕団員の様々な熱い大きな思いを全身に感じました。ようやく実施した10月16日は今までの中で開催のスケールは小さかったかもしれませんが、会場内の雰囲気はこれまで以上に活気に溢れ、会場にいたすべての人が「人と人の繋がり」の大切さを再確認できたと思えました。「赤十字のつどい」を次の時代にしっかり繋げていきたいと考えつつ、感謝をさせていただきました。次の開催でもたくさんのお会いを楽しみたいと思います。ご協力ありがとうございました。



● 無線赤十字奉仕団研修会を実施して

無線赤十字奉仕団 会計 古屋 栄彦

令和5年2月26日(日)に石川県支部講習会室で研修会を開催し、15名の団員が参加しました。

この研修会では「今年度の通信訓練の振り返り」と「赤十字ボランティア活動について知っておきたいこと」をテーマに、副委員長の澤田英一氏と赤十字防災ボランティアリーダーの北村裕一氏の2人が講師を務めました。

研修後のアンケートでは、「自助、共助」「立場を意識した行動」の大切さに触れるコメントもあり、奉仕団員としての意識の醸成を図ることができました。今後もこのような研修会を実施していきたいと思えます。



あとかき

今年度も皆様のご協力により多くの事業を行うことができ、誠にありがとうございました。次年度も奉仕団対象研修等のさらなる充実に向けて努めてまいりますので、引き続きご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

編集委員 寺本、村中、田中、北村、吉本
※日赤石川県支部のホームページからも奉仕団だよりを閲覧することができます。

